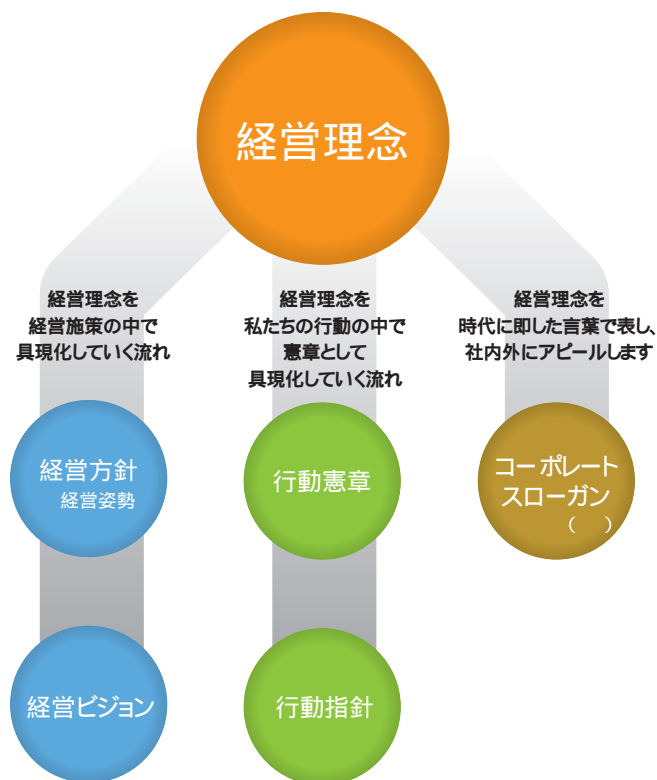




京阪グループの経営理念体系



()コーポレートスローガンについては、2ページをご参照下さい。

当社は平成18年11月19日、創立100周年を迎えました。明治39年の創立以来、地域に密着したさまざまな事業活動を通じて社会に貢献し、企業としての社会的責任を果たし、社会から信頼される企業を目指して事業を展開してきました。

平成10年7月に制定した「経営理念」は京阪グループとしての共通認識を持ち、経営理念に基づいて行動することにより社会からその存立が認められ信頼され続けるための根本思想であると考えています。この「経営理念」を上位概念として経営理念を日常の行動で実現するための基本方針として平成18年4月に「行動憲章」を制定しました。さらに、行動憲章を具体的な行動に落とし込んだものとして当社各部署およびグループ各社において「行動指針」を定めました。

また、「経営理念」実現のための基本的な取り組み姿勢を具体的に示した指針であり、経営の意思決定における価値前提となるものとして「経営姿勢」を定めています。京阪グループの社員一人ひとりが、グループを取り巻く人々の期待に誠実に応えながらCSR活動を推進していきます。

京阪グループ経営ビジョン「 “ 選ばれる京阪 ” への挑戦」

わたしたちは、「人々の暮らしを支え、よりよくすることを使命として、もっと多くのお客さまから選ばれる価値ある京阪グループの創造」に挑戦します。

当社創立100周年を迎えた平成18年11月、京阪グループの将来像である京阪グループ経営ビジョン「 “ 選ばれる京阪 ” への挑戦」を発表しました。このビジョンは平成22年の開業100周年から10年後の平成32年を見据え、「人々の暮らしを支え、よりよくすることを使命として、もっと多くのお客さまから選ばれる価値ある京阪グループを創造」することを基本方針としています。これは、「京阪」で「いい」ではなく「京阪」が「いい」と言ってもらえるような、もっと多くのお客さまから選ばれる価値のある会社として成長していく決意を定めたものです。

京阪エリアの魅力向上と拡大

京阪ブランドの確立

お客さまからの信頼の維持・向上

お客さま視点の営業力の強化

積極的・主導的な事業提携

“ 選ばれる京阪 ”
への挑戦